



『実践の考古学』

—縄文時代の漁労を考える—

内容

実践的な考古学手法をもとに、釣り針・糸・
錘（おもり）などの漁具を再現し、縄文時
代の漁労を考え解説を致します。

日時

令和8年7月18日（土）
13：30～15：30

場所

相模原市立
田名向原遺跡旧石器時代学習館
（旧石器ハテナ館）
実習・講習室

相模原市中央区田名塩田3-23-11

定員

40名（定員になり次第締切）

◆◆アクセス◆◆

【公共交通機関】神奈川中央交通バス（当02系統）
JR相模線 原当麻駅から「田名バスターミナル行」又は
田名バスターミナルから「原当麻駅経由北里大学病院・
北里大学行」バス停「田名向原遺跡」下車すぐ。



ハテナ館HP

対象

中学生以上

入場料

無料

申込開始

6月19日（金）

申込電話番号

042-777-6371

受付時間

9時～16時

講師



宮原 俊一氏

東海大学文学部准教授
考古学者

著書

『日本史辞典』

朝倉書店版

他 多数上梓

主催

相模原市教育委員会